



発行：新川神社社務所 〒930-0992
富山市新庄町 2-13-47 ☎・fax076-441-8186
mail: nikawa@takanotume.com
H P: http://niikawajinja.com

奉祝 新庄御鎮座 400 年
弥栄 弥栄 弥栄

御礼のご挨拶

新川神社
禰宜 船木信孝

十月九日「町新庄祭騒動」の三日前、天気予報では回復傾向にはあるものの、当日どうやら小雨が残りそうだと判断した時、奉祝行事ステージメントの設営を180度反対にして雨天でも参加者が落ち着いて観覧できるようにとドームテントを導入する決断を致しました。結果として大変素晴らしいステージになり、出演者も場所の広さを気にせずのびのびと演技が出来る好環境が雨により導かれました。小雨に濡れながら五本榎へ向かう道中、心を和めて力付けてくれたのは太鼓の音、田中町の祭囃子の笛の音、雅楽の音でした。

五本榎で祈りを捧げる間に雨が上がり、この時「町新庄祭騒動」の成功を確信しました。四百年前の大洪水の時に神に祈りを捧げると水が引いたと伝わる奇瑞の再来でした。

企画段階で何度も何度も会議を重ね、奉賛会役員総代会、若鷹会、各町内氏子各位の皆様と協力者である多国籍屋台主催のジェリーズ神田様と企画や安全対策を練りに練ることが出来ましたので、天気さえ晴れば将来伝説として語り継がれる奉祝行事になるだろうと確信していました。今は関わっていた皆さまに深く感謝するのみです。



今まで新川神社の神輿と各町内の神輿が一堂に会する機会は無かったです。氏神の下、氏子が一体となった瞬間は今思い出しても、写真で見ても、動画を何回繰り返し見ても唯々感動いたします。神様もこれだけ盛大にお祭されたら大喜び間違いなし、だと思えます。

股賑（いんしん・活気があってにぎやかなこと）を極める祭礼は地域を明るくします。神様に先だって邪気祓いをする猿田毘古神「どべ」に導かれ、神輿が巡行しますと地域が浄化されます。若衆が威勢良く担ぎ上げる神輿は老若男女に活力を与えます。我が町・新庄は子供達が「大人になったらあの神輿を担ぎたい！」とあこがれを持つような素晴らしいお祭りが出来る所です。（裏面続く）



伝説の元宮地・五本榎にて



(表面・御礼のご挨拶 続き)

様々な業種のノウハウを持つ新庄町の人々が心を一つにすれば間違いなく素晴らしい地域になります。歴史・伝統・文化を継承することは大切です。ですがその大義名分が逆に義務感となって本来の自発的な「祭の楽しみ方」として伝わらない事を残念に思います。一年に一度は神様と身も心も繋がって風の人(渡来者)・土の人(地元民)が一体になり、楽しみながら地域を創造する。いっしょにそれを「風土(ふうど)」と呼ぶようになるのではないかと思います。

今後は「土の人」である新庄在住の方々、「私」は新庄町の「新川神社の氏子だ!」と胸を張っていえるような心の地盤を作り、「風の人」である新川神社ファン、熱き志有る崇敬者の方々と共に先祖からお預かりいたしました神気あふれる新川神社で心を浄め、明るく楽しく語りながら切磋琢磨し、より良き人生を共に過ごして参りたいと思います。たった一度の人生、後悔の無いように生き抜きたいものです。

最後になりましたが構想十年の長い日々を共にした田添総代会会長、奉賛会結成後五年間、重責を担っていただきました貫江奉賛会会長、本当にお疲れ様でした。細川茂副会長には広報委員長を兼ねて色々な局面で交渉役、高額奉賛者への仲介役を率先してお勤めいただきました。坂野忠雄副会長には建設委員長をお勤め戴き、その前向きな力強い励ましのお言葉は今でも私の勇気と成っています。総代会の機構改革から始まり、奉賛会の立ち上げ、度重なる会議の運営など円滑に進めて戴き屋台骨を支えていただいた今井清隆事務長、多額の奉賛金の収支を運用いただきました寺井幸夫会計には大変な御苦労をおかけしました。また、今回神社裏田圃を参集殿建築用地へ転用する事に際しまして快くご承諾を戴きました貫江和夫様、吉田榮一様、貫江敏彦様に深く感謝申し上げます。そして新庄町用水協議会の方々から多額の寄付金にて借地を境内地に転用出来ました事は大きな神社会計健全化の礎になりました。此が無ければ今回の四百年祭は勿論、以降の経営も有り得ないと思います。

また、「お宮で飲む会」を通じて四百年祭には待望の新川神社青年会である「新庄若鷹会」を組織化し運営を導き、行事の大成を導いてくれた小川博司頭と役員各位に深く感謝申し上げます。神輿担ぎのご指導と体験をさせて戴きました日中置神社公青会とOBの藤川様、香積廣野神社の二宮正幸宮司様と青年会の皆様には手取り取り門外不出の作法をご指導戴き感謝いたしております。祭で本当に大事な奥底にある奥義を確かに受け取らせて戴いたような気がしております。「飲む会」の場で話が盛り上がり、田中町と藤木の獅子舞が特別参加で四百年祭を盛り上げていただきました。新庄と藤木の「どべ」、田中町の「ひよつとこ」のからみは最高でした。今回の四百年祭で新川神社は狭義の氏子区域のみならず、新庄校下の広範囲から崇敬を受けているお宮なんだなあと改めて深く感じました。多国籍屋台の企画と宮フェスの出演者のコーディネートその他諸々の演出に至るまでアイデアを戴いたジェリーズの神田善功さんのバイタリティに感謝いたします。DOZAN11様を招致戴いたグリーンレコードの神田さん始め出店者各位、神道体験エリアスタッフの皆さん、癒やし体験エリアの出店者の皆様のお陰様で素晴らしい「町新庄祭騒動」が創造できました。

奉賛金募金活動から、当日駐車場の誘導など奉賛会運営を支えて下さった氏子町内会の皆様、氏子内外の企業、崇敬者各位、また近隣の神社総代会、氏子以外の近隣町内会、新築の参集殿に絵画や書等多数のご奉納とご祝意を頂戴いたしましたすべての方々に篤く御礼申し上げます。言葉や文字では尽くしきれません。紙面の限界も有り止めどなく続いてまいりますのでとりあえず御礼のご挨拶を結ばせていただきます。誠にありがとうございました。

新穀感謝祭並びに神宮大麻頒布式
新川神社新庄御鎮座四百年記念大祭斎行
平成二十八年十一月二十六日 午後一時



第三十九回
お宮さんを描く
写生大会
富山新聞社賞受賞
新庄小学校五年
貫江仁渚さん

一月三十一日
寒中みそぎ・鎮魂行法錬成会



四月十九日春季例大祭

たんぼ学校

古事記に親しむ

神仏かふえ

六月十九日

9月24日稲刈り 12月4日しめ縄作り 5月22日田植え

鷹乃羽雅楽会

お宮で飲む会

十二月四日しめ縄講習

新川神社参集殿 竣工
平成二十八年四月十日



机(高低兼用)20台 椅子60台 座布団70枚
プロジェクタースクリーン BOSE PAシステム
ワイヤレスマイク2本 トイレ男子(小3+大1)女子3
株式会社オリバー <http://www.oliver-reform.jp>
中斉拓也建築設計 <http://www.nkstky.jp> (写真提供)
(※中斉拓也建築設計 HP に多数写真掲載中)

奉納御礼
心からの御奉納、誠にありがとうございました。



参集殿机20台・椅子60脚
株式会社オリバー



しだれ桜・植樹一式
上井石庭



常夜灯小屋の
屋根補修塗装
小川塗装



翡翠原石
(姫川産)
稲原弘



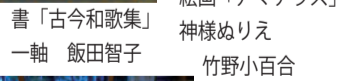
スタンドライト
参集殿完成形模型
中斉建築設計



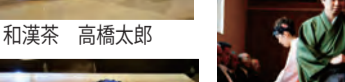
絵画「アマテラス」
神様めぐりえ
竹野小百合



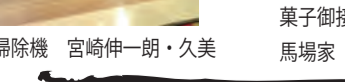
阿修羅像
最勝寺



書「古今和歌集」
一軸 飯田智子



和漢茶 高橋太郎



掃除機 宮崎伸一朗・久美



参集殿内覧会抹茶・
菓子御接待奉仕一式
馬場家(新庄第4)



絵画「龍神図」
米田昌功(画家)



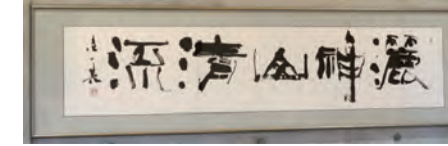
祭礼幟旗
宮司船木信光



絵画「三輪山旭日」三輪晃久
(画家・堂本印象美術館館長・奉賛会顧問)



絵画「朝日舞」
「蘭陵王出陣」
小林弘美



書「瀧神山清流」一額 黒田昌吾(書家・漆芸家:高岡)